

大名兒	彼方野邊尔	苧草乃	束之間毛	吾忘目八	万葉集 卷二 110 草壁皇太子
大名兒が	彼方野辺に	刈る草の	束の間も	わが忘れめや	
おほなこが	をちかたのべに	かるかやの	つかのあひだも	わがわすれめや	
大名兒が	遠くの野辺で	刈る草の束	その束の間も	私が忘れようか	